

新型コロナウイルス関連 公開情報取りまとめ
～2020年5月14日(木) 19時現在～

在サンパウロ日本国総領事館

1 サンパウロ州

5月14日(木)

- 14日(木) 15時現在、州内感染者数は前日比3189人増(+6%)の5万4286人、うちサンパウロ市が3万1873人、オザスコ市が1466人、サン・ベルナルド・ド・カンポ市が1321人、グアルーリョス市が1295人と続く。州内死者数は同197人増(+5%)の4315人で、うちサンパウロ市が2596人。全体の致死率は7.9%、60歳以上の死者の割合は73.1%。感染が確認されているのは州内645市のうち443市(前日434市)、死者は196市(前日192市)。入院感染患者数は約9900人(前日9600人)。州内公立病院のICU占有率は69%(前日68.3%)、サンパウロ大都市圏内は同85.5%(前日87.2%)。
- 14日(木)の州の社会的隔離実施率は48%(前日47%)、サンパウロ市の実施率は49%(前日48%)。なお、同日の実施率トップは引き続きサン・セバスチャン市の67%。
- 14日(木)、サンパウロ州の保健当局は、同日の記者会見において、ICU病床の不足が新型コロナウイルスによる死者を増加させているのではなく、同ウイルスの重篤性に要因があると説明。現在、州内のICU病床における患者の致死率は約20%。
- 14日(木)、サンパウロ州政府はサンパウロ市内で4番目の仮設病院をエリオポリスに設置と発表。病床は200床、うちICUは24床。工事の最終段階(94%)にあり、稼働開始は20日(水)を予定。
- 14日(木)、サンパウロ州政府は、イビラプエラの仮設病院がこれまでに224人の患者の受け入れたと発表。うち87人が退院、現在は114人が入院中で、病床の占有率は約49%。
- 14日(木)、サンパウロ州政府は、パウリスタ州立大学薬科学科(アララクアラ・キャンパス)のラボが新たな設備の下で、1日500件のPCR検査処理を実施すると発表。
- 14日(木)、サンパウロ市は、配車アプリ「99」の協力により、出産した母親を支援するプログラム「Mãe Paulistana」を今週より開始すると発表。市西部サポペンバ地区及び市南部ジャルジン・アンジェラ地区の産院等で出産した母親に対し、退院時に「99」を利用して帰宅するための乗車券30リアル相当を提供する内容。公共交通機関利用による感染リスクを回避することが目的。
- 14日(木)、サンパウロ市は、4月7日(火)に開始した社会連帯プログラム「Cidade Solidária」を通じ、これまで2732の貧困世帯に食料や衛生用品を配布したと発表。
- 14日(木)、サンパウロ市は、配車アプリ「Uber」及びイタウ銀行の協力により、市の医療機関を発着するUber利用の医療関係者に対し、15日(金)より、20万回分の無料配車を提供すると発表。本件はUberのCEOが発表した、全世界の医療関係者、高齢者及び、その他必要とする人々に1千万回分の無料配車を提供する取り組みの一環。
- 14日(木)、サンパウロ市は、マスク着用の重要性を市民に訴えるため、バンデイランテス記念像を含む市内16の銅像にマスクを着けたと発表。

2 マット・グロッソ州

5月13日(水)～14日(木)

- 14日(木) 19時現在、州内感染者数は前日比61人増の734人、うち州都クイアバ市が235人、ロンドノーポリス市が69人、ヴァルゼア・グランデ市が66人と続く。入院患者数は66人(うち37人がICU)。州内死者数は新たに22人目(77歳女性、ルカス・ド・リオ・ヴェルデ市、糖尿病、高血圧症と腎臓病を患っていた)、23人目(53歳男性、ヴァルゼア・グランデ市)及び24人目(66歳女性、シャパーダ・ドス・ギマラエンス市。糖尿病、高血圧症及び肥満症を患っていた)が確認された。統一医療保健

システム（SUS）に参加する州内病院におけるコロナウイルス感染患者向けのICU病床の空きは210床（占有率10.6%）、一般病床は641床（同2.0%）。

- 14日（木）、同州政府は同日より計278病床（うち40床がICU）を備えて稼働したメトロポリターノ病院（ヴァルゼア・グランデ市）に関し、既存の病院施設を拡張する方針を選択した意義を説明した。同州政府は、他州が多額の資金を投じて仮設病院等の建設を選択したとの事例を引き合いに出しながら、同病院の拡張工事の投資予算としては1650万リアルに収まり、3月23日（月）の着工から2か月足らずで完工に至ったとの成果を強調した。
- 13日（水）、同州インフラ・ロジスティクス局（Sinfra）は同日より、感染拡大防止策の一環で事務所に入る前に職員と来訪者の体温測定を実施すると発表。
- 13日（水）、同州教育局は公共テレビ「TV Assembleia」が18日（月）より州立学校の生徒に向けた録画授業の放送を始めると発表。公立学校の教員や私立学校のボランティア教員が番組を収録する。
- 13日（水）、クイアバ市長は近々市内のショッピングセンター関係者らと会合を開く予定と発表。ショッピングセンターの状況を把握すると共に、営業再開時の条件や感染拡大防止策等を協議する。

3 マット・グロツソ・ド・スル州

5月12日（火）～14日（木）

- 14日（水）正午現在、州内感染者数は前日比22人増の452人、うち州都カンポ・グランデ市が167人、トレス・ラゴアス市が77人、ギア・ロペス・ダ・ラグナ市が52人と続く。入院患者数は19人（うち7人がICU）。州内死者数は新たに14人目（38歳男性、カンポ・グランデ市、糖尿病、心臓疾患及び肥満症を患っていた）が確認された。感染が急増しているギア・ロペス・ダ・ラグナ市では、同州政府の支援を得ながら市内の人の往來の制限等を含めた衛生管理の強化に乗り出す。このほか、カンポ・グランデ市で実施したドライブスルー形式の感染検査数1828人のうち42人が、ドウラードス市では148人のうち7人が、トレス・ラゴアス市では155人のうち17人が陽性を示した。コルンバ市では10人を検査し、感染者は確認されなかった。同州保健局長は同日、SNSのライブ配信で同州の感染者数及び死者数は全国で最も少なく病床の占有率も最も低いと説明しつつも、引き続き警戒を怠らないよう広く呼び掛けた。
- 13日（水）、同州政府はアマンバイ市内（カンポ・グランデ市から南に約360キロ）の先住民コミュニティを対象にコロナウイルスの感染防止策を講じると発表。同市には約1万4500人の先住民が暮らしている。このほか、同州政府は同日、ドウラードス市内のボロロ・ジャグァピル先住民集落で初となる感染事例を確認したと発表。感染したのはブラジル食肉大手JBSグループに勤務する35歳男性で、現在は自宅待機している。
- 12日（火）、同州政府は2016年制定の州法で規定している同州公務員に対する特別手当（約200リアル/月）の支給を少なくとも来年5月までは継続するとした新たな州法案を議会に提出したと発表。コロナウイルスの感染拡大により経済に大きな影響が及び、州公務員の家計も厳しくなっているとの理由。
- 13日（水）、カンポ・グランデ市は同日より、タクシー及び配車アプリの運転手のマスク着用を義務化したと発表。
- 12日（火）、カンポ・グランデ市はJBSの同市拠点より、医療施設向けの使い捨てサージカル・マスク1万9300枚と石鹼2400個の寄付を受けたと発表。石鹼は支援団体を通じて貧困家庭に配布する。（了）